

一般社団法人全国保健師教育機関協議会

委員会活動報告書

委員長名 村嶋 幸代

【委員会名】 教育評価準備委員会(特別プロジェクト)	
【メンバー】 ◎村嶋 幸代(大分県立看護科学大学)、○斉藤 恵美子(東京都立大学)、 荒木田 美香子(川崎市立看護短期大学)、大河内 彩子(熊本大学) 神崎 由紀(山梨大学)、¥矢島 正榮(群馬パース大学)、中山 直子(神奈川県立保健福祉大学) オブザーバー 臺 有桂(神奈川県立保健福祉大学) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名	
【活動方針】 1. 保健師教育の評価について検討する。特に、「評価」で何を指すのかを明確にする。 2. 看護師教育・助産師教育を含む他の評価機関の機能を調べる。 3. 保健師教育の分野別認証評価を推進するか否かについて、会員校に合意を得る道筋をつける。	
2021(令和3)年度	
達成目標	1. JAPHNEI(全国保健師教育機関協議会)が行う保健師教育の評価の意義を明確にする。 2. 日本の大学等における分野別認証評価の取り組み状況を知る。 3. 先行する分野別認証評価について、利点・欠点をリスト化する。 4. 全保教が行う評価について、検討のための素材を準備する。
	活動報告 1. 委員会をオンラインにて、4回実施(7/2、7/28、9/27、10/22)。 第1回;本委員会設置の経緯と目的の共有した。教育課程委員会担当の岩本里織理事と教育体制委員会担当の西出りつ子理事から情報提供を受けた。 2. 第2回;①～⑦についての情報収集のため、役割分担を行った。 ①日本助産評価機構、②リハビリテーション教育評価機構、③日本高等教育評価機構(私立)、④大学教育質保証・評価センター、⑤文科省の事例集、⑥健康経営の仕組み、⑦全保教のデータリスト化 3. 第3回;各教育評価機構と関連する組織等の評価の仕組みについて、意見交換を行い今後の方向性について検討した。これらは事業報告としてまとめ、「保健師教育」に掲載予定である。 4. 第4回;収集した情報について論点を整理し、保健師教育の評価の方向性として、「保健師教育の質の保証」を目的とすること、「体制の保証と教育の到達度」、「教員・学生、大学もその目的を目指して元気になれるもの」について討議し、方法として、教育体系別(大学選択制、専攻科、大学院、その他)、評価対象、既存の認証評価との調整などを検討した。 5. 今後の課題として、①保健師教育の質保証、②教員・学生も大学も教育評価を目指して元気になるようなものとする、③大学広報に有用な項目を取り入れることについての3点を整理した。保健師教育評価の意義を明確にし、目的と具体的な方法などをさらに検討し、保健師教育評価の実施に向けて会員校の意向調査など含めて、次年度以降着手する。